８課「大切な人」

＜行動目標＞
簡単に自分の家族や友達について友達や周りの人に紹介することができる。

＜3 つのスモールトピック＞

ＳＴ１「家族・友達」
家族や友達の人数やどこに住んでいるかなどを話すことができる。
ＳＴ２「こんな人」
家族や友達がどんな人か話すことができる。
ＳＴ３「プレゼント」
友達にあげるプレゼントについて相談したり、自分がもらったプレゼントについて話したりすることができる。

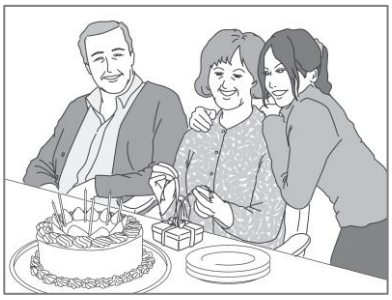
話してみよう

ここまで、自分のふるさとについて話したり、クラスメイトと一緒にパーティーをしたりして、教室の学習者は周りの人とだんだん親しくなってきたと思います。第８課のテーマは「大切な人」です。自分の大切な人について周りの人に知ってもらうことが、自分を知ってもらう機会にもなるでしょう。

【話してみよう】では、イラストや写真を見ながら、これから始まる８課のテーマに学習者を導いていく役割を持っています。『できる日本語教え方ガイド&イラストデータ CD-ROM』の p. 56 に質問例があるので、その質問を参考にしてみてください。

8 課も 7 課同様に「大切な人」というテーマから、学習者にとって「大切な人は誰か」と問いかけて【話してみよう】をすることもできると思います。(「大切な」は「ことば」の中では扱っていないので、教師が他の言葉で言い換えたりするなど配慮をしてください。)

ここでは、イラストを使ったやり取りを見ていきます。



Ｔ　：これは…
Ｌ１：誕生日です。
Ｌ２：ママの誕生日？
Ｔ　：そうですね。お母さんの誕生日ですね。
（イラストを指しながら）何をしますか。
Ｌ３：ケーキを食べます。
Ｌ１：プレゼント？
Ｔ　：そうですね。Ｌ１さんの誕生日はいつですか。

Ｌ１：12 月です。
Ｔ　：パーティーをしましたか。
Ｌ１：はい。ルームメイトと一緒にパーティーをしました。
Ｌ３：いいですね。何を食べましたか。
Ｌ１：国の料理を食べました。それから、お酒も飲みました。
Ｌ３：たくさん？
Ｌ１：はい、たくさん飲みました。
Ｌ２：プレゼント、ありますか。
Ｌ１：えー、ありません。
Ｔ　：Ｌ１さんのルームメイトは留学生ですか。
Ｌ１：はい、留学生です。でも、この学校の学生じゃありません。
Ｔ　：あ、そうですか。

教科書のイラストからやりとりを始め、そのやりとりの中から学習者自身の話が出てきたら、それについて話ができるように、教師が促したり、他の学習者に質問をしてもらったりしてください。８課の【話してみよう】では、自分の大切な人について紹介したくなるように話をすすめていけたらいいと思います。

聞いてみよう

【話してみよう】が終わったら、【聞いてみよう】に移ります。ＣＤを聞くときには、学習者に聞くことに集中してもらいましょう。ＣＤの中には効果音が使われているので、状況の理解の助けになっていると思います。ＣＤを聞いたあとで、大体の流れ（自分の友達の話をしている）をつかみ、ST1 に入っていってください。

ＳＴ１　家族・友達

できること：家族や友達の人数やどこに住んでいるかなどを話すことができる。

チャレンジ！

状況イラスト：授業が終わって、ダニエルさんとアンナさんは一緒に帰っています。
歩きながら、二人はおしゃべりをしています。

1

コマイラスト：学校の授業が終わり、アンナさんとダニエルさんは帰りがけに一緒になりました。同じ方向なので、アンナさんはダニエルさんがどこに住んでいるんだろうと思い、話しかけています。すると、二人は同じところに住んでいることがわかります。

アンナさんの上にある吹き出しの中に描かれているのは、関東地方の地図です。ここで教室でのやり取りをご紹介します。
T：（アンナさんの吹き出しを指差して）アンナさんは何と言いますか。
L：ダニエルさんの家はどこですか。
Ｔ：（ダニエルさんの吹き出しを指差して）
Ｌ：上野です。
Ｌ：私の家も上野です。
このあとＣＤを聞きます。このやり取りから、学習者がイラストを見て、（相手に住んでいるところを尋ねる＆答える）というのがわかります。CD を聞いたあとに、「（場所）に住んでいます」を確認します。

学習項目　～に住んでいます

言ってみよう　別冊1

ここでは、「~に住んでいます」の意味がわかれば、練習はそんなに大変ではないと思います。別冊を見ないで、教師が口頭でキューを出しながらテンポよく口頭での練習を進めてい

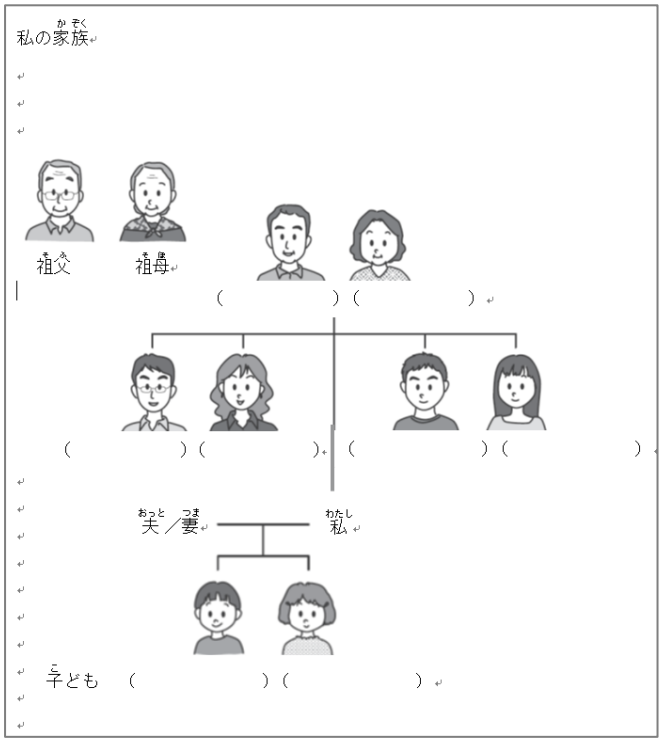
きましょう。⑦は学習者自身が、⑧は両親がどこに住んでいるかを言う練習です。

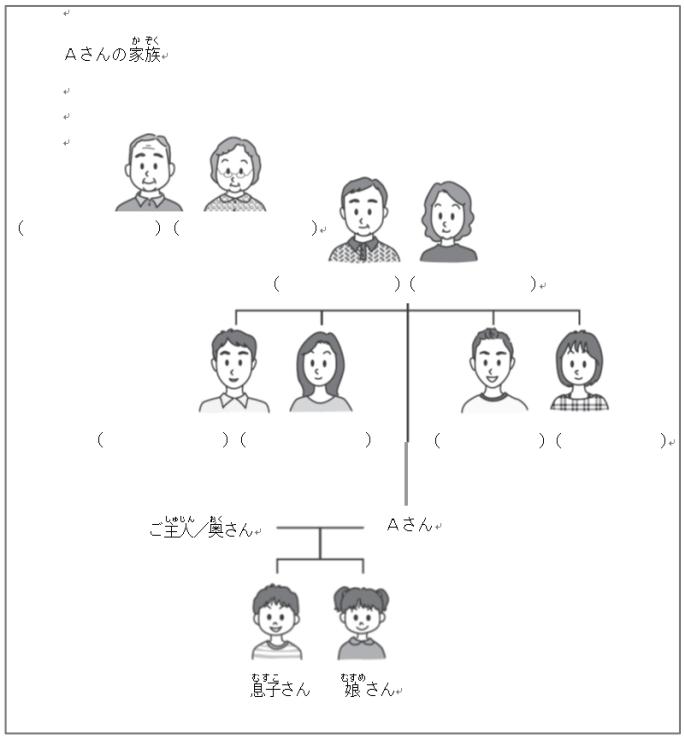
言ってみよう　本冊1

☺ マークがあります。学習者がどこに住んでいるか、言ってもらいましょう。
8 課は親族名称が新出語彙の中にあります。特に、日本語は自分と他人の家族で使い分けがされるので、まとめて紹介したほうが覚えやすいかもしれません。教科書 p.289 の「親族名称」のイラストを利用しながら、紹介をしてください。

こんなふうに

下記のようなプリントを用いて、学習者が自分で書き込みながら覚えられるように、授業を進めています。翌日の復習時にミニクイズにしてもいいと思います。

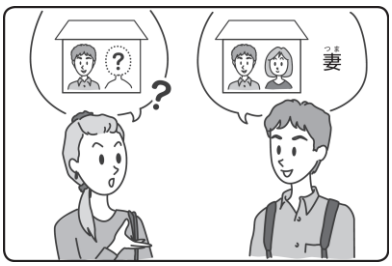




ここでの練習のとき、こんなやり取りがありました。
L：先生、自分のお母さんのことを「お母さん」いいですか。
T：うーん、自分のお母さんは「母」と言ったほうがいいですよ。
L：え、でも、ドラマで「お母さん」聞きました。
T：えー？？！！そうですか。
……実は、この学習者はドラマの中で、子どもが母親を呼び掛けるときに「お母さん！」というのを聞いて、「お母さん」を使ってもいいのかということを聞きたかったことがわかりました。確かに、呼びかけるときには「母！」とは言わないなあと気付かされました。

チャレンジ！

2



コマイラスト：二人は同じ上野に住んでいることがわかりました。話の話題は家族に変わり、アンナさんは、ダニエルさんに誰と一緒に住んでいるかを聞いています。

【チャレンジ！】2の学習項目は「(~人）で」です。学習者はダニエルさんの吹き出しを見て、「妻と住んでいます」と言うでしょう。(「人と」は 5 課 ST1 3 で既習）ＣＤを聞く前に、家の中に何人いるかを聞いてください。そうすると、ＣＤを聞くとき、ここの学習項目「[人］と（～人）で住んでいます」に注意を向けてもらうことができます。

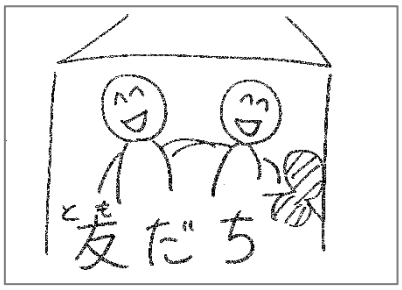
学習項目　［人］と（~人）で住んでいます

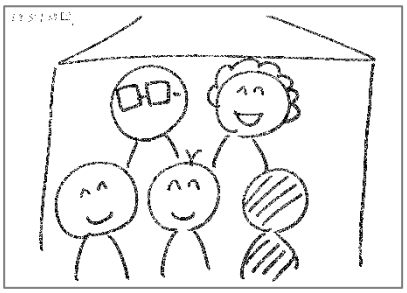
言ってみよう　別冊2

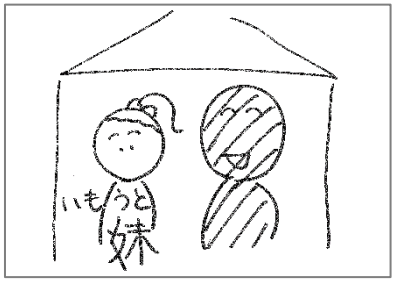
ここの練習を始める前に、教科書 p.287 を見て、人数の言い方を確認しましょう。別冊は文字でキューが示されていますが、キューをイラストに表して練習するのもいいと思います。

こんなふうに

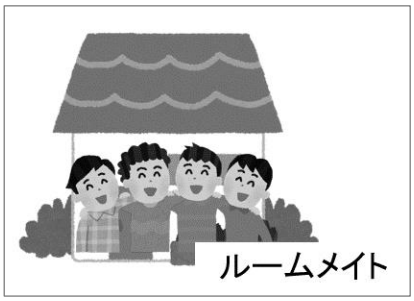
「友達と 3 人で住んでいます」の「3 人」というところを文字に頼らないで口頭練習をしてもらいたいと思い、文字をイラストにしてみました。







こちらはインターネット上のイラストを用いて、作成してみた例です。



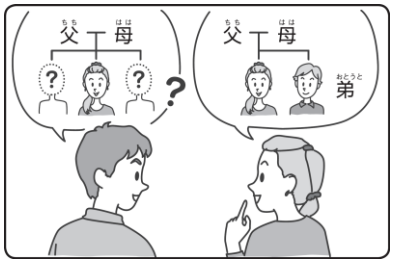
言ってみよう　本冊2

☺マークがあります。ここにはキューがないので、例を読んで確認をしたら、すぐにペアでの練習に入りましょう。

チャレンジ！

状況イラスト：ここの状況イラストは、教科書 p. 138 の状況イラストの続きです。ダニエルさんとアンナさんの二人は上野に住んでいます。今、二人は同じ電車に乗って、帰っています。電車の中でおしゃべりをしています。

3



コマイラスト：ダニエルさんとアンナさんはクラスメイトですが、今まで兄弟の話を聞いたことがありませんでした。ダニエルさんはアンナさんに兄弟がいるかどうか聞いています。

【チャレンジ！】3は、ダニエルさんの吹き出しの中にあるイラストが家族を表しているのがわかったら、ダニエルさんの吹き出しの中にあるアンナさんの左右を指してみてください。「兄弟」は新出語彙ですが、学習者が「兄と弟」と言ったり、既習の人が「兄弟」と言ったりするかもしれません。または、先に学習した親族名称を用いて「兄、姉、弟、妹は日

本語で何ですか」と聞く学習者もいるかもしれません。このようなタイミングを利用して、教師から「兄弟」と紹介してみてください。

学習項目 ～が（~人・匹）います

ときどき、先生方から「【チャレンジ！】がうまくできない…」という声を聞くことがあります。アドバイスの一つに「流れを頭に入れる」ことをお勧めしています。

例えば、8 課 ST1 には 2 つの状況イラストがあります。この 2 つのイラストは別々の物ではありません！アンナさんとダニエルさんが学校帰りに一緒になって帰っていて、おしゃべりしているうちに同じところに住んでいることがわかった（1 枚目の状況イラスト）同じ方向の電車に乗っておしゃべりをしている（2 枚目の状況イラスト）という流れを表しているものです。

なので、8 課の ST1 3 の【チャレンジ！】をするとき、状況イラストを見せて、突然「どこですか」と聞いては、それまでの流れが分断されてしまい、とても残念に思います。ぜひシーンとシーンをつなげてみるようにしてください。そうすれば、学習者を自然に導くことが可能になり、【チャレンジ！】がよりスムーズになると思います。

言ってみよう　別冊 3

例 2 は、複数人いた場合の言い方を練習します。ここでは、「姉が 2 人います」の助数詞「2 人」と助詞「が」の位置に注意が必要です。

これまでに 2 課 ST3 4 で、注文するときに用いられる「カレーを 2 つください」の文の中で、助詞の位置が助数詞の前だという例が出てきています。3 課で助詞を学習したあと、6 課 ST1 4 の「チケットが 2 枚あります」のところで、学習者に助数詞と助詞の位置についてしっかり意識してもらっています。8 課 ST1 3 の練習では 2 回目となります。きっと大丈夫だと思いますが、学習者に合わせながらもう一度確認するなどしてすすめてください。

「匹」は音の変化があるので、p.287 を見ながら、確認してください。

助数詞の「匹」は音の変化があって、学習者にどうやって覚えたらいいかと聞かれることもあるでしょう。下記のように

1 匹	pp	いっぴき	6 匹	pp	ろっぴき
2 匹	h	にひき	7 匹	h	ななひき
3 匹	b	さんびき	8 匹	pp	はっぴき
4 匹	h	よんひき	9 匹	h	きゅうひき
5 匹	h	ごひき	10 匹	pp	じゅっぴき

音の変化をアルファベットで表して示すと、覚えやすくなります。
「～匹」以外に「～杯、～本」も同様の音の変化があります。

言ってみよう　本冊3

ここにも ☺ マークがあります。ここにもキューがないので、例を読んで確認をしたら、すぐにペアでの練習に入りましょう。②は相手に聞くときは「お子さん」と聞きますが、答えるときには「子ども」となることに注意が必要です。

こんなふうに

ここには ☺ マークがありますが、個人的な質問を聞くので、学習者の中には答えたくない人がいるかもしれないと思いました。そこで、下記のような「なりきり練習」をしてみました。A はＢに①ペット、②兄弟、③子どもの有無を聞く、Ｂは下の写真、イラストを見て答えるという練習です。②と③はいろいろな人がいるので、どの人が「私」かというのを記しました。

A
① ペット　② 兄弟　③ お子さん

B
①

②

③

私

チャレンジ！

4

コマイラスト：アンナさんは弟の仕事についてダニエルさんに話しています。

【チャレンジ！】4は、３の続きなので、まず３から【チャレンジ！】をしてください。アンナさんが弟さんのことを紹介しているのがよくわかります。ここでは弟さんのイラストを指し、それから、イラストの車、会社を指していくといいと思います。

学習項目　Ｖています（職業）

言ってみよう　別冊4

ここでの「Ｖています」が 7 課の「Ｖています」とは意味が違うことに注意をしてください。⑥は、学習者に兄弟や両親が何をしているのか、単文で紹介してもらう練習です。

練習の方法として、最初に、「働きます」「教えます」「勉強します」「アルバイトします」の動詞だけを「～ています」の形に口頭で変換する練習をすると、語彙の確認やテ形の復習になっていいと思います。

ここでの練習は、それぞれのキューを変形するだけですが、授業ではぜひいろいろなバリエーションでの練習を行ってください。口頭練習では、キューの一部をどんどん変えていくことで、練習も増えていきます。

Ｔ：教えます
Ｌ：教えています
Ｔ：ピアノ
Ｌ：ピアノを教えています。
Ｔ：パソコン
Ｌ：パソコンを教えています。
Ｔ：高校で英語
Ｌ：高校で英語を教えています。

学習者が答える際も、全員でのコーラス、一人ずつ答えるなどの方法を用いながら進めていくと、授業がテンポよく進んでいくと思います。

また、インターネット上にあるイラストを用いて、文字キューをイラストに変えることもできると思います。

言ってみよう　本冊4

写真を見せながら、自分の家族を紹介しています。Ｂが質問をするときには、「父は何をしていますか」などとならないように、注意を促してくださ☺。　マークがあるので、携帯の中にある写真などを利用して、学習者の家族や友達について紹介してもらいましょう。

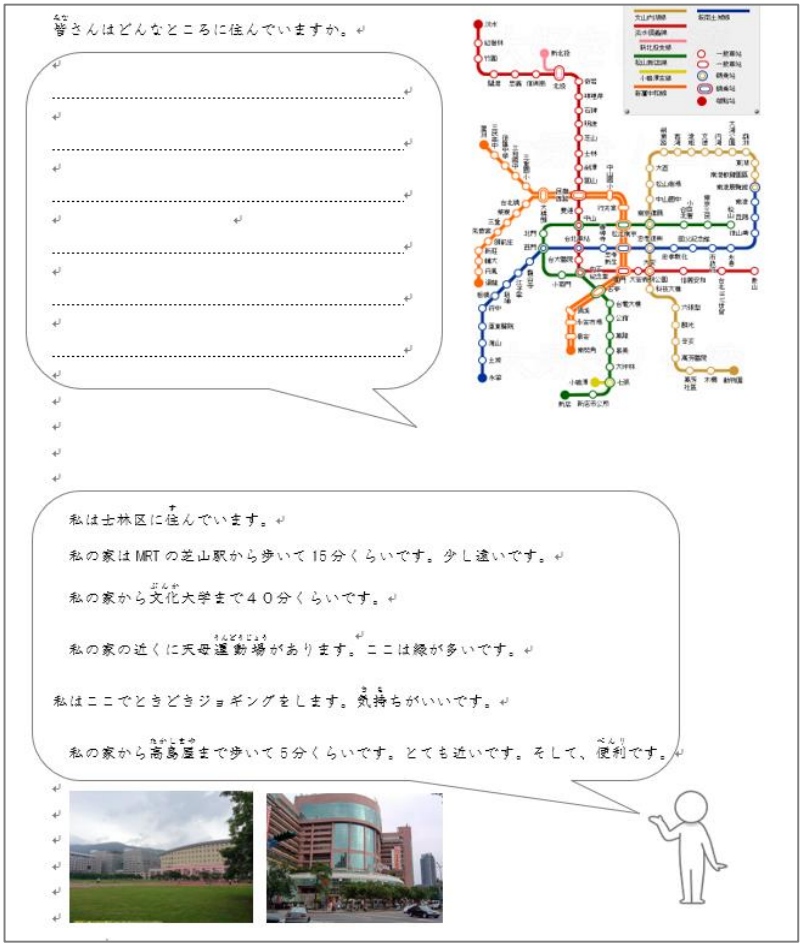
やってみよう

ここではどこに住んでいるかだけではなく、住んでいるところがどんなところかも合わせて紹介しています。4 課 ST2「どんなところ？」で学習したことの復習にもなります。4 課で自分の国・町がどんなところかを紹介するときに使っていた表現や語彙を、このタスクの「今、住んでいるところの描写」をすることにも使うことができます。こうすることによって復習にもなりますし、話題が広げられることで、学習者が自信を持って日本語を使うことにつながると思っています。

■話すときに、聞きなれない場所の名前を聞いても、クラスメイトがどこに住んでいるのかわからないこともあると思います。電車の路線地図やその地域の地図があると、どの辺に住んでいるのかというのがわかると思います。

こんなふうに

海外で教えている先生の教室はいろいろな地域から通っている人がいるので、このように電車の路線図を使って、この辺というのを学習者に紹介してもらっているそうです。



このタスクでは、音声で指示が示されています。聞き取りが苦手な学習者には、教師がフォローをしてあげてください。

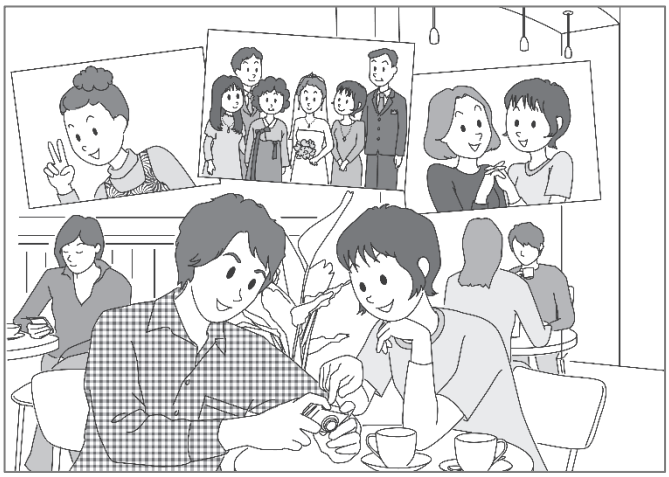
■8 課の【できる！】では、家族や友達について紹介をするので、ここではその前段階として、自分の家族や友達がどこにいて、どんなことをしているのかが紹介できたらいいと思います。教師も自分の兄弟、友人や同僚などを紹介してみてください。

ＳＴ２　こんな人

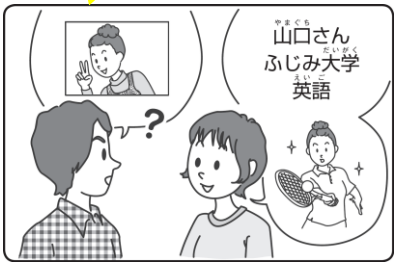
できること：家族や友達がどんな人か話すことができる。

チャレンジ！

状況イラスト：マルコさんとパクさんは喫茶店でお茶を飲んでいます。パクさんはデジタルカメラに入っている写真をマルコさんに見せています。
カメラの中には、パクさんの友達や家族の写真が入っています。パクさんはマルコさんに写真を見せながら、写真の人物がどんな人かを紹介しています。



1



コマイラスト：マルコさんが写真に写っている女性について、パクさんに聞いています。パクさんは写真に写っている女性（山口さん：同じ寮に住んでいる日本人の女性）について、どんな人かを紹介しています。

【チャレンジ！】では、まず、状況イラストを見て、どんな状況かを確認したあとで、今、マルコさんとパクさんが見ている写真を指し（状況イラストの左端の写真、黄色の線で囲んである四角）、それから、コマイラストに進んでいってください。マルコさんがパクさんのカメラにある写真を見ているときに、女の人が 1 人で映っている写真が誰かが気になって、パクさんに質問をしています。
【チャレンジ！】では、パクさんの吹き出しの中に書いてある日本語を、教師が順番に指していってください。「山口さん」「ふじみ大学」「英語」を順に指差していけば、学習者は、8 課 ST1 で学習したばかりの項目を上手に使って、復習として「山口さんはふじみ大学で英語を勉強しています」と発話してくれると思います。
　このように、学習した項目をそのあとの何度も繰り返し復習ができるようにチャレンジ

や言ってみようの中に入れてあります。教師はどこで学習した項目かをしっかり確認しておく必要があります。また、学習者達が学習したものを上手に使って発話できたときには、ぜひほめてください。それが学習者の日本語に対する自信を深めるチャンスです。ほめるチャンスを見落とさないでください。

もし、、「ふじみ大学」「英語」の文字だけで何を言ったらいいかとまどう学習者もいるかもしれません。そんなときには、「ふじみ大学」を指しながら、「山口さんはふじみ大学の…」と教師が言うと、学習者は「学生です！ふじみ大学の学生です」というように、以前練習したことが思い出せると思います。学習者が以前、学習したことを思い出せるように引き出していくことが大切です。

ここでは「上手です」が新出語彙です。コマイラストにある山口さんの周りにある星から、「テニスが上手」ということが学習者の頭の中で想像できるといいと思います。

学習項目　Nが上手です・下手です

言ってみよう　別冊1

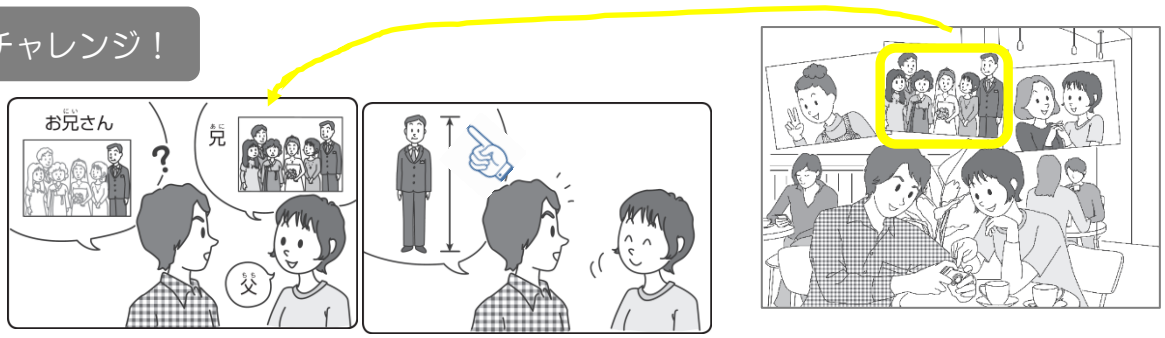
④は「あまり」の後ろは否定形になることに注意してください。⑤は自分の家族や友達または、学習者自身のことを言ってもらいましょう。そのとき、「私は英語が上手です」のように、日本語では自分のことに「上手」は用いないことにも注意を促してください。

言ってみよう　本冊1

ここでは、写真を見せながら、友達を紹介している場面です。練習が終わったら、ぜひ自分の友達の写真を見せながら、自分の友達を自慢してもらいましょう。

チャレンジ！

2



コマイラスト：マルコさんは、パクさんが参加した結婚式の写真を見ています。その写真はパクさんの「お兄さんの結婚式」の写真なので、マルコさんはお兄さんはどの人かと思って、まずは背が高い男の人に注目して、パクさんに質問しました。パクのお父さんだとわかり、マルコさんはちょっとびっくりしています。パクさんのお父さんは背が高い人です。

【チャレンジ！】では、状況イラストの 2 枚目の写真（上の状況イラスト中の黄色い線で囲んである）を見て、その写真とパクさんの吹き出しの写真が同じことを示してから、パクさんが何と言っているか、学習者に【チャレンジ！】してもらってください。ここでは「背が高い」は初出の語彙ですが、学習者は 2 枚目のコマイラストの↕から「高い」ということがわかると思います。ＣＤを聞く前に、教師がイラストのところを「お父さんは…」と言いながら、指で↕の部分を指し示しておくと、学習者はＣＤを聞くときに、注意がいきやすくなると思います。

学習項目　　～は～が A です

言ってみよう　別冊2

別冊では文字でキューが示されていますが、イラストを用いて練習するといいと思います。

こんなふうに

口の練習が一通り終わったところで、「スリーヒントクイズ」を用いた練習をしてみました。ドラえもんやトトロなど、このレベルの日本語で描写できるキャラクターを選び、そそのイラストを学習者に渡し、描写してもらいました。他の学習者はその描写を聞いて、どれかをあてるというものです。例えば、ドラえもんを見て…

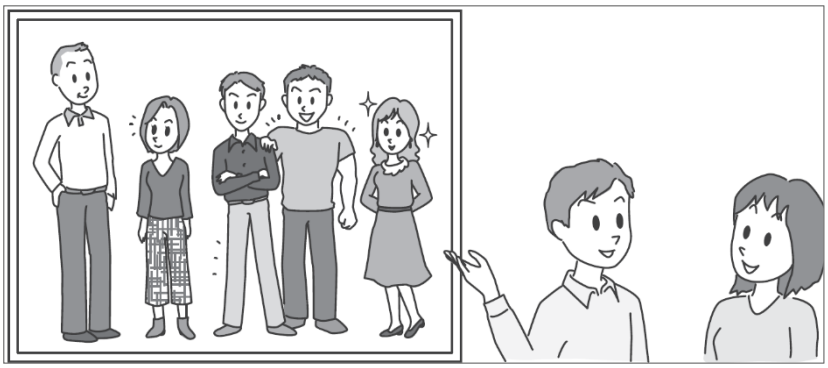
頭が大きいです。足が短いです。体が青いです。

のように紹介していました。

「スリーヒントクイズ」と言えば…『たのしい読みもの 55』の「日本を知る 1」の「これは何でしょう」をぜひ見てみてください。

あるクラスでは、ここを読んだあと、自分たちでクイズを作り、学校のバス旅行でクイズ大会をしたことがあるそうです。バスの中は大盛り上がり～～～とのことでした。

言ってみよう　本冊 2



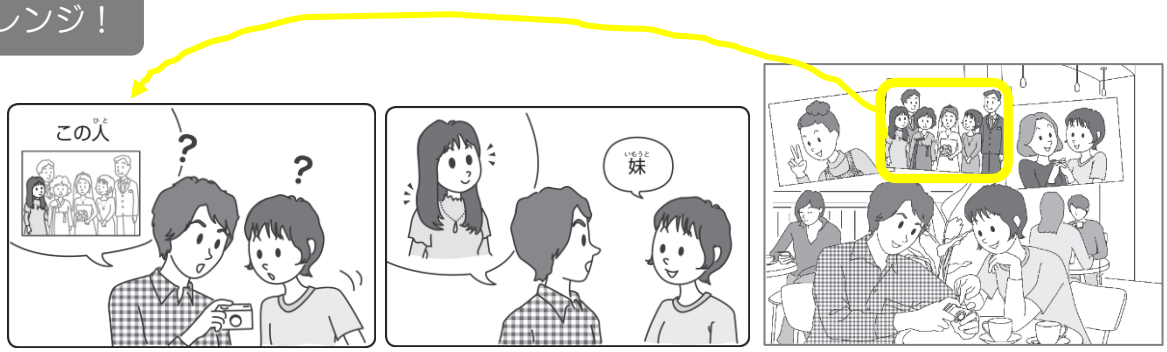
イラスト中の「　」に注目しながら、練習を進めてください。B は A の「私の姉です」に引きずられて「A さんの姉は～～」とならないようにしましょう。このように親族名称は繰り返し出てきます。初出のときに、教師がその日に全部覚えなければ先に進めない！と思わなくて大丈夫です。☺があるので、学習者の家族や友達がどんな人か、紹介してもらってください。

『できる日本語』の中では、その課だけではなく、既習のことばや文型が何度も出てきます。「教えたあとは、使うのは学習者任せ」ではなく、教科書の中では、積極的に既習のことばや文型が使えるところで使われています。

親族名称が初めて出てきたところで完全に言えるまでに練習！！としなくても、何度も繰り返して出て来るので、学習者が徐々に覚えていく様子が見られています。

チャレンジ！

3-1



コマイラスト：パクさんのお兄さんの結婚式を見ているマルコさんは、写真に写っている女の人が気になって、パクさんに聞いています。写真の中には何人か写っているので、

パクさんはマルコさんがどの人について知りたいと思っているのか、わかりません。マルコさんは気になる女の人の外見について説明しています。マルコさんの説明を聞いたパクさんは誰か分かり、妹だと答えています。

【チャレンジ！】は、2 枚目のイラストの「　」を指しながら、進めていってください。学習者は2で既習した「髪が長いです」「目が大きいです」を使って、言うことができると思います。また、形容詞が 2 つあることに気がついた学習者からは、4 課 ST2 6の「そして」を一緒に使って、【チャレンジ！】してくれると思います。

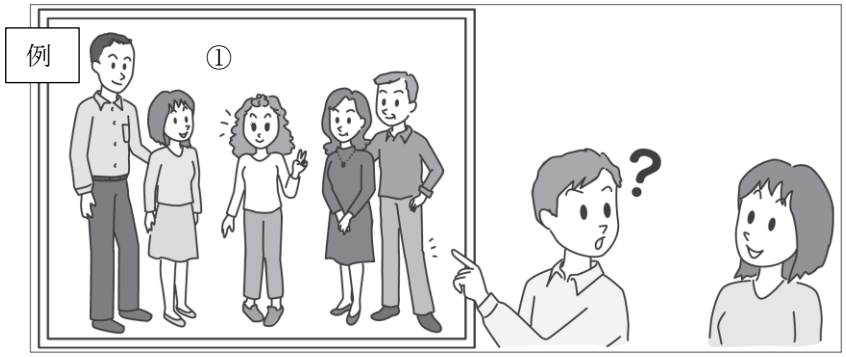
学習項目　　イ A くて、～　　ナ A・N で、～

言ってみよう　別冊3

【チャレンジ！】では、3-1 と3-2 と分かれていますが、3の学習項目はどちらも「イ A くて、～　　ナ A・N で、～」です。別冊の役割は、単文レベルでの練習を通して、文の形を理解することなので、形容詞、名詞の接続の練習を行います。練習 1 では、い形容詞の接続、練習 2 では、な形容詞と名詞の接続の練習です。「いい」は「よくて」になることに注意してください。

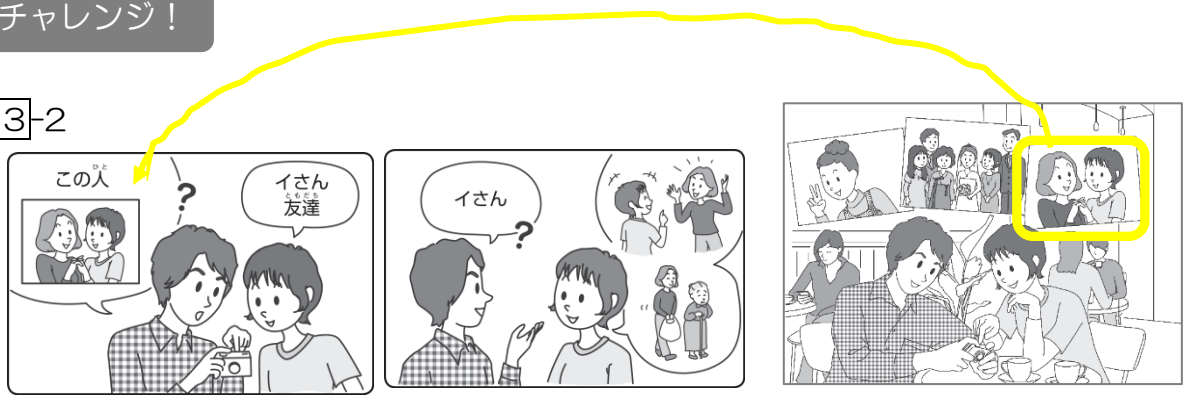
言ってみよう　本冊3-1

3－1 では外見について、どのように言うかの練習です。下のイラストを見ながら、練習をします。代入練習ですが、キューは全部示されていません。解答例がありますが、必ずこれを言わなければならないということはありませんので、どんな形容詞を使ったらいいか、学習者と一緒に考えてみてください。授業の中では、①の女の人を見て、「髪が長くて、目が大きい人です」と言った学習者もいました。



チャレンジ！

3-2



コマイラスト：マルコさんは 3 枚目の写真を見ています。写真に写っているのはパクさんの友達です。マルコさんは興味を持って、どんな人かを聞いています。

【チャレンジ！】では、すでに別冊で練習をしているので、スムーズにできると思います！

学習項目　　イＡくて、～　　ナＡ・Ｎで、～

言ってみよう　本冊3-2

3－２は主に性格と少し外見についても話す練習です。ここにも ☺ があるので、ぜひ学習者の友達や周りの人がどんな人なのかを紹介できるといいですね。もし、写真がなかったら、「～さんの友達はどんな人ですか」とそのまま聞くのもいいと思います。

やってみよう

学習者に合わせて、ＣＤを聞く前に、簡単にそれぞれの写真に何が写っているかを一緒に見ておくのも一つの方法です。ＣＤを聞いたあとで、答えを聞く際、どうしてその答えを選んだのか、ヒントになった部分も一緒に学習者に聞いてみてください。

■ペアで話します。ＳＴ２のできることは「家族や友達がどんな人か話すことができる」です。このタスクを達成するために、ST2 で練習したことだけではなく、これまでに学習した項目も存分に使って、写真に写っている家族や友達がどんな人なのかを紹介するタスクです。ここでは、「～さんのお仕事は？」（１課）、「どの人ですか」（７課）「～はどこに住んでいますか」「～は何をしていますか」（8 課ＳＴ２）などが使えるといいと思います。

もう一枚、イラストを用意しておいて、質問する人と答える人の両方のロールが練習できるようにしてください。

ロールカード例

表

裏

田中(たなか)さん
大学生
渋谷(しぶや)
かわいい・元気(げんき)

_____さん
(　　)
(　　)
(　　)

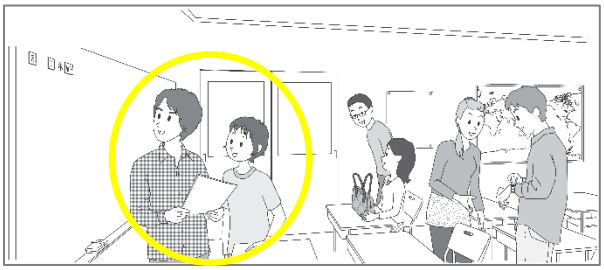
イワンさん
会社員(かいしゃいん)
新宿(しんじゅく)
背(せ)が高(たか)い・
かっこいい

ＳＴ３　プレゼント

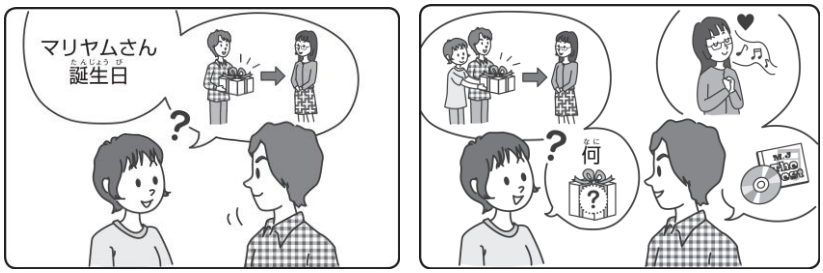
できること：友達にあげるプレゼントについて相談したり、自分がもらったプレゼントについて話したりすることができる。

チャレンジ！

状況イラスト：マルコさんとパクさんは教室で話しています。



1



コマイラスト：パクさんは黒板に書かれている日にちを見て、もうすぐマリヤムさんの誕生日だと気がつきます。マルコさんにプレゼントをあげるかと聞いています。パクさんは一緒にプレゼントをあげないかと提案し、二人で何をあげるかを話しています。

【チャレンジ！】の際には、コマイラスト１枚目のパクさんの吹き出しにあるイラストをさして、マリヤムさんにプレゼントをあげるということがわかるように、→の部分を手で指して強調をしたり、教師がプレゼントをあげるジェスチャーをしたりしてください。「あげます」は新出の動詞なので、学習者から出てこなくても、ああ誰かに何かをあげるんだなと分かったらいいです。2 枚目のマルコさんの吹き出しは、マリヤムさんの横に描かれている♡のマーク、ＣＤを指しながら、学習者が以前学んだことを使えるように、引き出していってください。

学習項目　あげます

言ってみよう　別冊1

ここでは、練習１、練習２とあります。　　練習１では、与え手が１人称と３人称の練習です。ここでは、名詞を入れ替えるだけの練習なので、学習者に合わせて、練習の方法を工夫してください。『教え方ガイド&イラストデータＣＤ-ROM』の中には、下記のようなイラストがあるので、これを大きく拡大、またはＰＰＴにして、中の□のプレゼントのキューを教師が口頭で出すという方法もその一つです。

練習 2 では、自分から相手への行為を表すときに、「に」を用いてその対象を表す練習です。「行為」と言ってもここでは、動詞を用いた「行為の授受」ではありません。「行為の授受」は初中級 8 課で学習します。

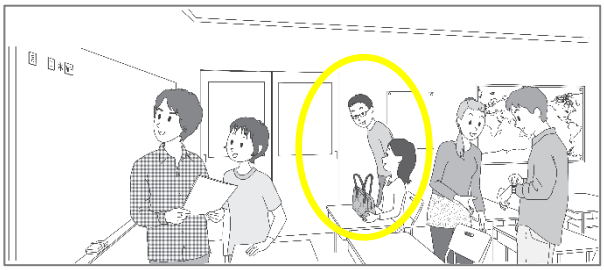
言ってみよう　本冊1

友達の誕生日、結婚式、友達が国へ帰るといったときに、何かプレゼントをあげるということがあるかもしれません。1は、そんなときに、何をあげるか相談している会話です。

ここの練習のとき、教室にもうすぐ誕生日を迎える学習者がいました。クラスメイトは、練習のときに、本当に何をあげるかを他のクラスメイトに聞いていました。後日、そのクラスでは、教室でお祝いをして、祝ってもらった学習者はうれしそうでした。このように練習がただの練習ではなく、本当にクラスメイト同士でのコミュニケーションにつながっているのが、とてもうれしく思いました。

チャレンジ！

2



コマイラスト：ナタポンさんはワンさんが新しいかばんを持っているのに気が付きました。ワンさんに話しかけています。ワンさんのかばんは誕生日にお母さんにもらったものです。

【チャレンジ】では、学習者が 1 の「あげます」を使おうとして、「母は私にあげました」と言うかもしれません。コマイラストのワンさんの吹き出しの中で、ワンさんの頭の上にある　に注目してもらってください。「私は母…」というところで、学習者が、自分が

プレゼントを受け取ったということは日本語で何と言うんだろうということに注目できるようになったらいいと思います。

学習項目 もらいます

言ってみよう 別冊2

やりとりの方向がわかりやすいように、矢印を用いて、物の移動を示しています。

言ってみよう 本冊2

例を見てみましょう。

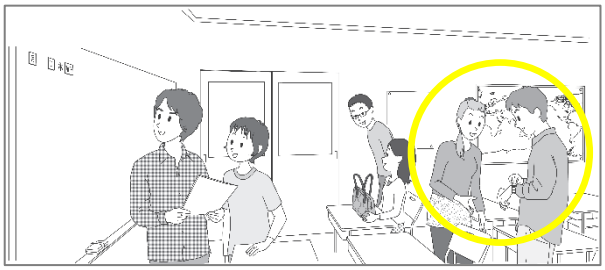
A：Bさん、そのカメラ、いいですね。

B：あ、ありがとうございます。姉にもらいました。

別冊では文の構成を理解するために「私は姉にカメラをもらいました」と練習をしましたが、実際の使い方を見てみると、このような言い方をしているでしょうか。このような一文を使うことはあまりないかと思います。本冊では、実際の場面に即した会話の練習なので、「私」「カメラ」も省略され「姉にもらいました」となっています。例を一緒に確認する際に、教師が何が省略されているかを補うなどしてください。

チャレンジ！

3



コマイラスト：アンナさんがダニエルさんにバレンタインデーがどうだったかを聞いています。ダニエルさんはうれしそうに話しています。

【チャレンジ！】では、「妻と一緒に食事をしました。それから、私は妻に時計をもらいました」とダニエルさんの吹き出しにあるイラストを忠実に再現してくれる学習者もいることと思います。CDを聞く前に、教師はダニエルさんの奥さんの頭の上にある に学習者の注意がいくようにしてください。また、「妻」と言い、←も指で示すと、学習者は「もらう」とは違うようだと気付くきっかけになると思います。

学習項目 くれます

『できる日本語』には、いろいろな登場人物がいます。あおぞら日本語学校で勉強している留学生は、ほとんどが単身者なのですが、ダニエルさんは奥さんと一緒に日本に滞在してます。仕事をしながら、日本語を勉強しているので、大変そうです（5 課 ST2 p.89）が、日本で迎えたバレンタインデーは、幸せそうです♡

言ってみよう 別冊3

今まで「私は～」「パクさんは～」と「は」が使われていましたが、ここでは「マルコさんが～」となっているので、疑問を持つ学習者がいるかもしれません。ここで、「が」が使われているのは、「くれました」が用いられるときに、わざわざ与え手を「は」と取り立てなくてもいいことによります。これはあくまでも教師向けの説明です。もし学習者に説明するようなことがあった場合、言い方など工夫してください！

言ってみよう 本冊3

何かみんなが知っている共通の話題になるイベントのあとに、イベントがどうだったかを話している会話です。このやり取りの中で、「友達がＣＤをくれました」のところでは、もらい手は「私」なので、会話の中では「私」が省略されること、また、この会話では、①「クリスマス」②「バレンタインデー」に何をしたかという話をし、最後に、プレゼントの話をしています。ここでは、プレゼントの与え手を強調することはないので、「が」が用いられています。

やってみよう

ここでは２つのタスクが用意されています。

プレゼントに何をあげるかを相談している会話を２つ聞きます。会話の中では、お店を比較したり、他の人に聞いたりしています。１では、プレゼントをあげるパクさんの好みを考えて、お店を比較しています。ＣＤを聞いたあとで、どんなプレゼントをあげるか、どうおしてそのプレゼントを買うことにしたかなどを聞いて、ＣＤの会話の中の表現を一緒に確認をしてください。２では、プレゼントをあげる際に、詳しい人に聞いて、相談をしています。

■　このロールプレイを行う際に、ロールカードにある「Ｃさん」をそのまま使うのではなく、実際に誕生日が近い人を C さんにしたり、場合によっては、もうすぐ帰国する人がいたり、結婚や出産などお祝いごとがある学習者がいたら、その人を C さんとして会話をするのもいいですね。

タスクは「誰が何をくれましたか」ですが、１の会話の中には、「恋人にもらいました」とあるので、ちょっと注意をしてください。会話の中に「くれます」が出てくると思って、それだけを聞き取ろうとする学習者もいるかもしれません。

■　これまでにもらったプレゼントで、うれしかったプレゼントは何か、それはいつ誰にもらったかなどプレゼントにまつわるエピソードをたくさん話してもらいます。いろいろなタスクのやり方がありますが、１つの方法としては、「話読聞書」のようなやり方が考えられます。全体に「うれしかったプレゼントがありますか」と問いかけてから、3 人グループやペアで少し話してもらい、最後に話したことを全体で共有をします。教師はグループやペアで話しているときに、教室の中をぐるぐる回り、どんな話がされているのかをよく聞きましょう。

できる！

話読聞書

この課の【できる！】は、「家族・友達はどんな人ですか。どんな思い出がありますか。クラスメイトと話しましょう」です。

８課の「話読聞書」のテーマは「大切な人」なので、【できる！】と【話読聞書】を一緒に行うということもできます。

ここまで、自分の家族や友達について少し話してきましたが、最後にそれらをまとめて話すというのもいいですし、またはほかの人を紹介するのもいいと思います。自分が応援している歌手を紹介してくれた学習者もいました。ここでのテーマは「大切な人」なので、自分にとって大切な人がどんな人かを紹介できたらいいと思います。

学習者だけが紹介するのではなく、教師もコミュニティの一員ですから、ご自分の「大切な人」を紹介してください！学習者はきっと興味を持って聞いてくれます。そして、いろいろな質問が出てきますから、そのやり取りを楽しんでください。

あるクラスでは、事前に紹介したい人の写真を教師に送り、授業で紹介するときには、その写真を見せながら、クラスメイトの前で紹介を行いました。ここまで住んでいるところ、どんな人かなどを話しているので、学習者は一人で準備をすることができると思います。

こんなふうに

下に教師の例を載せました。上には学習者の紹介が書けるようなシートを作成してみました。

大切な人を紹介します！

これは私の友達です。
若は石井さんです。私と石井さんの間は根岸さんです。
私たちは同じクラブ(社團)でした。4年間、一緒にビオラを弾きました。
石井さんは明るくて、顔がいい人です。結婚しています。主婦で、子どもが3人います。東京に住んでいます。スペイン語(西班牙文)が上手です。
根岸さんはおもしろくて、親切な人です。会社員です。パリ(巴黎)の音楽が好きです。よく(常常)パリへ行きます。
私たちは一緒に台湾へ旅行しました。とても楽しかったです。また一緒に旅行に行きたいです。